

委員会報告

口腔衛生関連用語に関する提言

日本口腔衛生学会用語委員会

小関 健由¹⁾ 加藤 一夫²⁾ 佐藤 勉³⁾ 千葉 逸朗⁴⁾

口腔衛生会誌 64 : 39, 2014

第2回 健診関連用語について

日本口腔衛生学会用語委員会では、混乱を招く可能性のある類出用語や定義が曖昧な用語に関して「口腔衛生関連用語に関する提言」で取り上げ、学会誌の紙面をお借りして学会員の皆様に広く問題提起し、ご意見をいただくことにしました。ご意見は、本学会用語委員会宛に顕名でお送り下さい。

第2回の「口腔衛生関連用語に関する提言」では、個人または集団の健康状態を査定する際に用いられる検診や健診といった検査に関わる用語を取り上げます。

健診

健康診断または健康診査に由来する略語で、どちらも健康異常の早期発見あるいは健康管理に用いられる方法を表している。正式な用語とはいえ、国家試験出題基準や歯科医学教授要項にはその記載はない。しかし、歯科医学会学術用語集では、健診は健康診断の略語として収録されている。その目的は、個人または集団の健康状態を点検することであり、疾病の発見を特に意図したものではない。その意味において健康診断と健康診査に厳密な区別はないが、保健医療関係の法律の下では使い分けられている。

健康診断と健康診査

健康診断は、主に労働安全衛生法や学校保健安全法で用いられる用語で、例えば、学校歯科健康診断のように、職場や学校の定期健診がこれにあたる。適切な事後処置により健康の保持、増進を図るものである。健康診査は、疾病の早期発見や早期治療および保健指導による疾病の予防や健康増進の促進を目的に実施される。健康増進法や母子保健法における健康診査は、それぞれ健康

増進事業実施者がその対象者に対して、また市町村が乳幼児や妊産婦に対して行う。歯科口腔保健の推進に関する法律では、「歯科に係る検診」という用語で、健康診査と健康診断を合わせて表現している。なお、高齢者の医療の確保に関する法律で定める特定健康診査は、内臓脂肪の蓄積に起因する高血圧症、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病に関する健康診査を示している。

検診

特定の疾患の早期発見を目的としたもので、疾病の二次予防にあたる。しばしば、がん検診や結核検診など疾患名を冠したり、歯科検診や胸部検診など対象領域を限定して使用される。集団検診は、学校、地域や職域で一度に多人数を対象に、主として結核、生活習慣病、職業病などの早期発見を目標として行うスクリーニング検査を指す。

検査と診査

検査は、広辞苑には（基準に照らして）適不適や異状・不正の有無などを調べることとある。検査という用語は、例えば、血液検査や尿検査、視力検査や嚙下機能検査または内視鏡検査など、検査材料、検査対象、検査器具などを冠して多様な表現が使われている。診査という用語は、診察と似た語感をもつが、健康診査として使われる場合を除き、検査のように単独で使われることはない。したがって、国家試験出題基準、歯科医学教授要項、歯科医学会学術用語集などにも診査の記載はない。

文 献

- 1) 楠 博, 高橋昌巳 編著: 衛生・公衆衛生学用語事典, 医学出版社, 東京, 43頁.

¹⁾ 東北大学大学院歯学研究科予防歯科学分野

²⁾ 愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座

³⁾ 日本歯科大学東京短期大学

⁴⁾ 北海道医療大学歯学部保健衛生学分野